

## 平成29年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

島根県

行 事 名 称	大日如来堂火災想定訓練
実施期間・日時	平成30年1月21日（日）9：30～10：30
実 施 場 所	雲南市大東町田中1267番地 大日如来堂
主 催 者	雲南消防署

## ■実施内容

## 訓練の想定

大日如来堂から放火により出火、県指定有形文化財の大日如来像5軀及び周囲の山林に延焼危険があると想定。消防隊は大日如来堂への放水及び山林への延焼拡大防止にあたる。

## 訓練の内容

通行人が火災を発見し119番通報する。消火器で初期消火するが消火できず。人命危険はなし。消防隊は小型ポンプを反部川に水利部署させ、ポンプ車に中継送水し消火にあたる。

## 参加者及び役割分担

大日如来像保存会（1名）：119番通報  
 万福寺（1名）：見学  
 雲南市大東町田中上自治会（数名）：見学  
 雲南消防署（11名）：安全管理、中継放水訓練、講評  
 雲南市教育委員会職員（2名）：現場立会い

## 特に工夫した点

大日如来堂は水利からの距離が遠く、また高低差が約30mと高い位置にあるため、中継送水の機関運用が重要となる。さらに、水量の少ない川から揚水し、2線放水するための機関運用を実施し、各隊の連携を図る。

## 問題点・課題

水利から大日如来堂までの消防ホース延長に時間を要するため、いかに迅速に延長するかが今後の課題である。また、大日如来堂への進入路は勾配がきつく冬期間に積雪がある場合は消防車両が進入できないため、冬期間の活動方針に注意が必要である。

## その他

今後も文化財防火デーの一環として火災想定訓練を行うことにより、貴重な文化財を火災等から守る任務を堅持し、併せて的確かつ迅速な火災防ぎょ体制を確立するとともに、住民に対し火災予防広報を行う。

## 訓練風景



消防ホース延長状況



放水状況